

現役大学生が綴る...

わたしたちの つながる通信

～神原議員のもとでたくさんの学びがありました～



学生の発想で政策提案しました!!

私達は今回のインターンシップの中で、様々な角度から豊中の現状を見てきました。豊中市には多くの先進的な制度がある反面、まだまだ改善が必要な分野も...そこで、これからの豊中を担っていく私達が各自で提案を考えました!! この提案を採用すれば、豊中はより良い街になるはず!!



給食はこのままでいいのか?

～給食っておいしくないの!??～

大阪大学 文学部
1回生 嶋村乾一

給食に対するイメージ

福岡県出身の私...

「おいしい」・「楽しみ」

多くの豊中市民...

「残っても仕方ない」・「おいしくない」

どうしてこんなに違うのか...

要因① センター方式である

↑克服している他市も多数存在

要因② 試食することなく献立を決めている

↑味への配慮に欠けている

要因③ 食べている人の声が届いていない

↑実態調査が行われていない

こんなことができるはず!!

・センター方式の他市を調査

→おいしい給食を提供している他市の方法を学び、応用・実践する。

・児童と同条件での試食

→児童と同じ立場で味付けや食べ合わせに考慮し、献立を作成する。

・給食アンケートの実施

→児童・教員に対して、給食についてのアンケート(味や残飯の実態など)を実施し、その結果を市のホームページで公開する。

おいしい給食の提供は
残飯の削減、児童の十分
な栄養摂取につながる
重要な課題です!!
豊中市の給食はまだまだ
良いものになります!!

障がい者福祉にスポットライトを！

～みなさんにわかってほしいこと～

関西学院大学 文学部
1回生 小場美月

- ・介護職に就きたいと思っていたが、親に反対されてしまった…
- ・一般的に、障がい者よりも高齢者に関する問題が多く取り上げられているように感じる…

高齢化が深刻になってきているとは言え、市内の障がい者の数は高齢者の要介護者数に比べても決して少なくありません。

高齢者(要介護1～5)

13,068人(平成26年7月末現在)

障がい者手帳所持者

20,299人(平成26年3月末現在)

こんなことができるはず！！

- ・授産施設(*)でバザー
施設を見学してもらいながら、商品を買ってもらおう！
- ・インターネットの活用
SNSやブログで日々の活動や感想を報告しよう！
- ・子どもたちと工作
子どもたちと施設利用者で協力して一つの作品を作り上げよう！

※障がい者の自立支援・就労訓練を行う施設。施設利用者がそこで働き、賃金を得ることが出来る。

みなさんに障がい者福祉についてもっと知ってもらうため、積極的なPR活動を行うべきです！！

環境意識向上を目指して！

～小学生から始めよう！～

大阪大学 工学部
1回生 山本航平

ドイツから帰国した友達の話を聞き、日々の中で環境活動を行うことの大切さに気付きました。

豊中市に足りないもの

- ① 日常生活の中での環境活動
- ② 環境教育での学びの継続
- ③ 市民・事業者・行政の連携強化

こんなことができるはず！！ …豊中版エコカード

エコカードとは

小学生がエコ活動(リサイクル、マイバッグ持参、豊中市主催のイベント参加)をするとスタンプがもらえるカード

対象

環境教育が本格化する小学4年生以上

市民・事業者・行政の連携強化

個々が環境対策を行うのではなく、連携することでそれぞれの取り組み効果を高め、新たな環境施策の実現も可能



日常生活の様々な事が環境問題と関わっていることに気づき、継続して行えるようにするべきです！！